

## 2005～2006 年度 社会奉仕委員会の活動報告

### 「施設の子供に対する英語教室のボランティア」

岩出口ロータリークラブ会長 長瀨 順三

本年度 2640 地区平尾ガバナーの方針の中にもありますように、「地域のニーズにあった奉仕活動を考える」これが岩出口ロータリークラブの本年度の方針の一つでありました。社会奉仕委員会の新世代、人間尊重委員会の活動として、昨年从那賀郡内の身体障害者の施設の人を招いてのきさらぎコンサート（県立那賀高校の吹奏楽部の生徒達と準備設営をサポートしてくれる各体育部、ボランティアの生徒達の協力）を続けています。又新しい奉仕活動として、2005 年 11 月から「施設の子供に対する英語教室のボランティア」をスタートさせました。事情があって親と一緒に住めない子や、親のいない子供を預かり幼児から高校生ままで育てている養護施設にたいして、小学 4 年生から 6 年生に対して（10 人）英語の教室を開設して、ボランティアに賛同してくれた塾の講師先生のご協力で実現しました。社会一般では、小学生から塾に通う子供が多く、中学生になった時点で出遅れ感から英語嫌いが生じやすいという現実の解消を目指しました。月 2 回の割りりで夜 7 時～8 時 30 分の時間割で実行しています。USA からの国際青少年長期受入留学生も講師先生のサポートとして、子供たちに生の英会話、英語の歌などを教えて楽しくやっています。できるだけ継続的にやればいいと思っています。

原則：月 2 回（午後 7:00～午後 8:30）

